

高齢者実態調査等のうち認知症に関する設問について

高齢者実態調査【本人調査】

問 （前回調査）	設問	質問内容	選択肢
11 (15)	在宅で提供される医療	あなたは、『人生会議（ＡＣＰ）』について知っていますか。	1 名前も内容も知っている 2 名前は知っているが、内容は知らない 3 名前も内容も知らない
14 (18)	認知症の認知度	あなたは「認知症」という病気を知っていますか。	1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない 3 わからない
15 (19)	認知症の人の支援	あなたは、認知症の人の支援に必要なことは何だと思いますか。（○はいくつでも）	1 認知症に関する相談窓口の充実 2 認知症の早期発見への取り組み 3 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実 4 ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること 5 介護職員が行う認知症ケアの質の向上 6 認知症の人を介護するご家族に対する支援 7 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実 8 認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保 9 認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場（認知症カフェ等）の充実 10 認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味）に関する取り組みの充実 11 認知症の人に対する虐待防止や本人の財産を守る（消費者被害の防止等）などの権利養護に関する支援 12 その他 13 わからない

問 (前回調査)	設問	質問内容	選択肢
19-2 (24-2)	地域包括支援センター・ ランチの利用状況・満足度	あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用（相談）された目的について、次の1～9に○をつけてください。 （○はいくつでも）また、その時の満足度についてあてはまるものに○をつけてください。	（表形式のため省略） ※選択肢に「物忘れ、認知症について」あり
25 (30)	本市関連施設・事業の利用状況・意向	次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。	（表形式のため省略） ※選択肢に「認知症高齢者見守りメール」・「認知症高齢者位置情報探索事業（GPS）」あり

高齢者実態調査【介護サービス利用者調査（①）】【介護サービス未利用者調査（②）】、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（③）

問 (前回調査)	設問	質問内容	選択肢
①31 (①34) ②30 (②31) ③9(1) (③9(1))	認知症状の有無	認知症の症状（物忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）	1 はい 2 いいえ
①31-1 (①34-1) ②30-1 (②31-1) ③9(2) (③9(2))	認知症に関する相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○はひとつ）	1 はい 2 いいえ

問 (前回調査)	設問	質問内容	選択肢
①31-2 (①34-2) ②30-2 (②31-2) ③9(3) (③9(3))	知っている認知症に関する相談窓口	【問34-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】 あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(〇はいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ） 8 認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」） 9 区役所・保健福祉センター 10 その他
①31-3 (①34-3) ②30-3 (②31-3) ③9(4) (③9(4))	認知症についての相談先	あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。 (〇はいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ） 8 認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」） 9 区役所・保健福祉センター 10 どこに相談すればいいかわからない 11 その他

高齢者実態調査【介護者調査】（【介護サービス利用者調査（①）】【介護サービス未利用者調査（②）】に設問あり）

問（前回調査）	設問	質問内容	選択肢
①39（①43） ②38（②40）	本人の認知症の程度	ご本人の認知症の程度について、 もっとも近いものに○をつけてください。（○はひとつ）	1 全く認知症の症状がない 2 何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している 3 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる 4 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする 5 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする 6 激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする

高齢者実態調査【介護支援専門員調査】

問（前回調査）	設問	質問内容	選択肢
24（24）	A C P（人生会議）の実施状況	介護支援専門員業務において、ACP（人生会議）を実施していますか。	1 知っており、実施をしたことがある 2 知っているが、実施をしたことはない 3 知らなかったが、今後は実施をしたいと思う 4 知らなかったが、今後も実施はしないと思う

問 (前回調査)	設問	質問内容	選択肢
36 (38)	認知症高齢者等へのケアプラン作成にあたっての困難	担当する認知症や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。 (〇はいくつでも)	1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない 2 認知症の症状が急変したときの対応 3 病気をお持ちの家族への対応 4 家族等介護者との意見の相違 5 サービス事業者や後見人利用等の手続き 6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否 7 医療機関への受診や服薬管理 8 金銭管理の援助 9 着替え、整髪、歯磨き、爪切りなどの清潔保持 10 徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応 11 幻覚、妄想、うつなど行動・心理症状への対応 12 近隣住民からの苦情 13 その他 14 特にない
36-1 (38-1)	認知症高齢者等へのケアプラン作成にかかる課題解決の対応	問38の課題解決のために、どのような対応をしていますか。(〇はいくつでも)	1 主治医からの助言を得る 2 地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加 3 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」)への相談 4 認知症地域支援推進員へ相談 5 認知症疾患医療センターへ相談 6 区役所への相談 7 サービス担当者会議での十分な意見調整 8 あんしんさばーと事業や成年後見制度の利用 9 民生委員や地域組織の役員など近隣へ相談 10 権利擁護支援に係る専門職派遣(地域包括支援センター等を通じて大阪市成年後見支援センターに依頼)の利用 11 本人宅に支援ノートを置くなどサービス事業者間での情報共有 12 障がい者制度関係機関 13 その他 14 特にない

高齢者実態調査【施設調査】

問 （前回調査）	設問	質問内容	選択肢
12 （14）	施設での認知症の人への対応における課題	施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	1 職員の認知症についての理解や対応力が十分でない 2 認知症の人への対応力を高めるための研修等に職員を参加させたいが、研修の機会が少なく難しい 3 妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状のある人への対応が困難である 4 認知症を治療する医療機関について、情報が少ない 5 がんや循環器疾患、大腿骨骨折などのほかの傷病（身体合併症）などがある認知症の人を受入れてくれる医療機関について、情報が少ない 6 認知症に関連した相談ができる機関が少ない 7 認知症の人の要介護度が上がったときに、受入れてくれる特養など介護施設が少ない 8 認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が異なるため難しい 9 認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い 10 特に課題はない 11 その他